



# A Spirits of Potential Power 女子サッカー一部報告 A Spirits of Potential Power

～今年からインターハイに女子サッカーが加盟～

## インターハイ大阪予選がスタート

近畿で2チームの狭き門に挑戦

平成24年度大阪高校春季サッカー大会(女子の部)は、4月22日からJ-GREEN堺ほかで行われ、大阪桐蔭高校は1回戦で星翔高校を5-1で破り決勝リーグに進出した。決勝リーグは大阪桐蔭のほか大商学園、茨木西、合同Aの4チームで行われ上位1チームが6月23日から25日までJ-GREEN堺で行われる第65回近畿高等学校サッカー選手権大会(女子の部)に出場できる。近畿大会で上位2チームに入賞すると今年から正式種目となったインターハイ女子サッカーで全国大会出場となる。

なお、決勝リーグで大阪桐蔭高校は茨木西を11-0、合同Aを16-0で破り優勝をかけて27日11時J-GREEN堺S2で大商学園と対戦する。

### ◇1回戦(4月30日、勝山高校)35分ハーフ (カッコは前半のスコア)

#### 大阪桐蔭高校 5-1(2-0)星翔高校

【得失点】19分(PK)、33分呉屋、41分失点、49分濱本(PK)、54分、60分呉屋

この試合に負けると敗退が決まる重要な試合となった。星翔はトップにスピードのある須恵とキック力のある原を配置し、サイドはスピードのある太田、松田がチャンスを作る。大阪桐蔭は守備ラインを高く設定し相手コートでボールを奪うプレスサッカーで対応した。立ち上がりから星翔の早いサッカーに押し込まれピンチが続いた。慣れない土とやや縦が狭いグラウンドでパスサッカーができない。コーナーキックからのピンチを相手のシュートミスで助けられ、15分から攻撃ができるようになってきた。19分泊の縦パスを受けた濱本が強引に中央へ持ち込み呉屋にパス、前へ抜けようとするところを足をかけられPKを得た。このPKを呉屋が決め先制。さらに33分呉屋が中山からのヘディングパスを受け前へ抜け出し2点目を上げた。後半6分不用意なファールから原にFKを直接決められ1点差に詰め寄せられたが、14分スローインを受けた濱本がゴールに向かったところを再び反則を受けPKを得た。これを濱本が冷静に決めリードを広げ、19分、25分と呉屋が得点し5-1で勝利した。

### ◇決勝リーグ第1戦(5月3日、大阪産業大学生駒グラウンド)

#### 大阪桐蔭高校 11-0(7-0)茨木西

【得失点】7分持田、10分呉屋、16分、18分、20分濱本、31分中山、32分呉屋、38分、40分、50分濱本、67分八雲

上位4チームで行われる決勝リーグ第1戦は5月3日、大阪産業大学生駒グラウンドで行われ茨木西高校を11-0で破り1勝をあげた。開始から攻撃的に攻め込み7分に持田が先制ゴールをあげた。さらに10分に呉屋、16分、18分、20分に濱本が追加点をあげ試合を決めた。もう一試合は大商学園が合同Aを7-0で破った。

### ◇決勝リーグ第2戦(5月13日、大阪産業大学生駒グラウンド)

#### 大阪桐蔭高校 16-0(12-0)合同A

【得失点】1分濱本、5分呉屋、7分、13分持田、14分八雲、22分濱本、23分呉屋、27分泊、28分藤井、30分濱本、31分泊、32分持田、40分山崎、41分船越、55分泊、64分麻尾

決勝リーグ第2戦は合同A(千里青雲、鶴見商業、大阪国際滝井、咲くやこの花、八尾北、成美)と対戦した。1分で右サイドを上がった中山から受けた濱本が得点し先制した。さらに呉屋、持田がゴールを決め優位に進めた。大商学園は茨木西を11-1で破り27日2勝同士で大阪桐蔭と大商学園が1枚の切符をかけて対戦する。リーグ戦だが得失点差より当該チームの対戦が優先されるため、大商学園戦で引き分ければPK戦を行い代表を決定する。

## めぬまカップは10位

3月26日から第18回熊谷市高校女子サッカー大会MENUA CUP 2012に参加した。昨年は東北の震災のため中止となったが、今年は全国の強豪48チームが集まって開催された。大

阪桐蔭は予選リーグで3勝2分で2位となり2位トーナメントに進出、1回戦で高崎健康福祉大学高崎高校(群馬)に3-0、続く常葉学園橘高校に1-1PK3-2で勝ち9位決定戦に進んだが、湘南学院高校(神奈川)に2-1で敗れ10位となった。

### ◇予選リーグ(4月26、27日、妻沼運動公園ほか)20分ハーフ

大阪桐蔭高校 1-1(1-0)作陽高校(岡山)  
大阪桐蔭高校 2-0(1-0)仙台育英(宮城)  
大阪桐蔭高校 0-0(0-0)修徳高校(東京)  
大阪桐蔭高校 2-0(0-0)山陽女学園(広島)  
大阪桐蔭高校 7-0(2-0)県立桐生女子高校(群馬)

### ◇9位決定トーナメント(4月28、29日、妻沼運動公園ほか)25分ハーフ

(1回戦)大阪桐蔭高校 3-0(0-0)高崎健大高崎高校(群馬)

(準決勝)大阪桐蔭高校 1-1(0-1)PK3-2 常葉橘高校(静岡)

(9位決定戦)大阪桐蔭高校 1-2(0-0)湘南学院高校(神奈川)

澤選手などでしこ代表と対戦

## INACと練習試合

4月7日大阪産業大学生駒グラウンドでINAC神戸を迎えて練習試合を行った。プレナスなどでしこリーグ開幕前のテストマッチ相手として大阪桐蔭が選ばれた。ピッチには澤選手をはじめでしこジャパンメンバーが勢ぞろいした。90分の試合で後半20分にトップメンバーが出場、瞬間に大野、高瀬選手などに6失点し合計0-13で敗れ格の違いを見せつけられた。試合後はみんなと一緒に記念撮影をしてもらった。世界一のメンバーと試合ができて一生の思い出となるとともにサッカーの良いイメージを学んだ。

## 浦和レッズに1点奪う

3月29日浦和レッズランドで浦和レッドダイヤモンズレディースと対戦した。濱本が1点を奪う殊勲をあげたが1-9で敗れた。最初はスピードの高さに戸惑っていたが次第に慣れ守備力がアップした。